

神戸学院大学有瀬図書館

展示会通信第46号

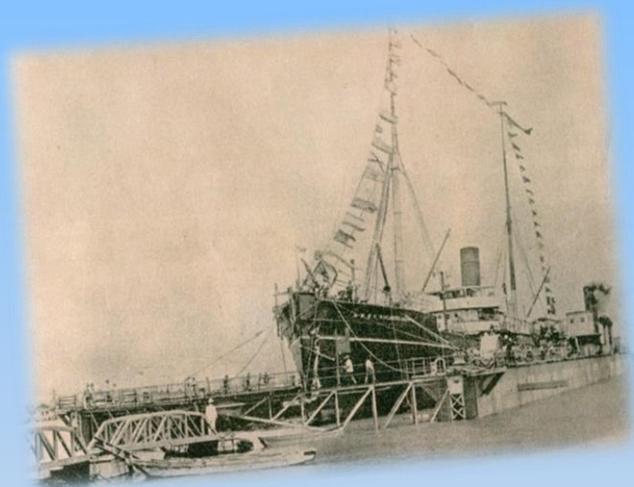
2018年7月19日発行

Meridian

第44回有瀬図書館ギャラリー展

明治維新150年

— 黒船来航と兵庫県 —



2018年7月5日（木）～11月7日（水）

開催場所：神戸学院大学有瀬図書館

本館2階 エントランス展示コーナー

* 開催時間や開催期間は変更になることがあります。図書館HP・掲示にて、ご確認のうえご来館ください。

今回のギャラリー展では、日本開国のきっかけを作った人物、ペリーと、開港場として整備が進められた都市、神戸にスポットを当て、これらに関する貴重な資料を展示しています。

展示の紹介



『Narrative of the expedition of an American squadron to the China seas and Japan v.1,v.2』

A.O.P. Nicholson,1856年



『黒船来航絵巻 金海奇観 原装影印版』

雄松堂書店,2014年

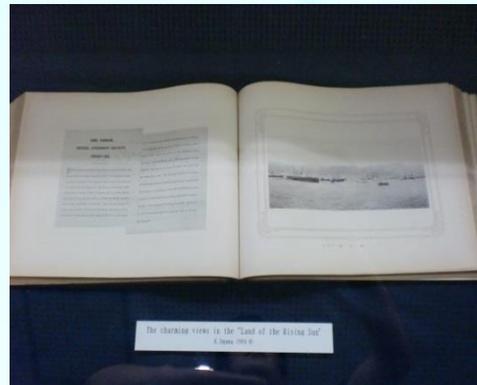
神戸港の歴史

ペリー率いる黒船来航をきっかけに、江戸幕府は欧米諸国と通商条約を締結しました。日本は約200年に渡る鎖国政策から開国へと向かいます。また、この通商条約を受けて、外国との貿易のために5地域が開港場として選ばれました。兵庫(神戸)もそのうちの1港でした。



『明治期着色写真「神戸」』

出版社・出版年不明



『The charming views in the “Land of the Rising Sun”』

K.Ogawa,1904年

黒船来航から15年後の1868年、神戸の港は「兵庫港」として開港しました。横浜や長崎での開港に伴う混乱、尊皇攘夷運動の活発化などにより、当初の予定から5年延期されての開港でしたが、その間にも兵庫港は着々と整備が進められていました。こうして兵庫港は、外国との貿易拠点として発展を遂げ、1892年、勅命により「神戸港」と改められました。

展示の様子



編集後記

今回のギャラリー展は、ペリーと神戸にまつわる資料を展示しました。ペリーが来航したのは浦賀(神奈川県)であり、一見神戸とは関連のない出来事に思えます。しかし、この出来事が契機となり神戸港が整備され、今日の神戸の発展へと繋がるのです。このギャラリー展をご覧になった方が、幕末の歴史や私たちが暮らす街、神戸について少しでも関心を持ってくださることを願っています。

参考資料

- ・神戸市立博物館『開国への潮流 ―開港前夜の兵庫と神戸―』
(http://www.city.kobe.lg.jp/culture/culture/institution/museum/tokuten/2017_2kaikoku.html)
(最終アクセス日 2018年6月10日)
- ・神戸開港150年記念事業実行委員会『神戸開港150年記念事業』
(<http://www.kobeport150.jp/port/history.html>)
(最終アクセス日 2018年6月10日)

神戸学院大学図書館 展示会通信 MERIDIAN 第46号

2018年7月19日発行

発行・編集：神戸学院大学 有瀬図書館

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518

TEL：078(974)4584 E-mail：pub-lib@j.kobegakuin.ac.jp

ホームページURL：http://opac.kobegakuin.ac.jp/